

## 用語の解説

### ○ ダイオキシン類

ダイオキシン類とは、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDD)及びコプラナーポリ塩化ビフェニル(コプラナーPCB)を含めた物質の総称をいいます。ダイオキシン類には200を超える物質がありますが、この内毒性があると見なされているのは29種類です。

### ○ pg(ピコグラム)

1pgとは、1グラムの1兆分の1の質量をいいます。

### ○ TEQ(毒性等量) Toxicity Equivalency Quantity

測定されたダイオキシン類の量を、ダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算したものです。

毒性等量の換算については、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則別表第3に規定されている毒性等価係数(WHO-TEF(2006))を用いました。

数値の取り扱いについては、平成12年1月12日付ダイオキシン類対策特別措置法施行通知に基づき、水質・底質に関しては検出下限値以上の数値はそのままの値を、検出下限値未満の数値は検出下限値の1/2の値を用い算出しました。

### ○ 環境基準

ダイオキシン類対策特別措置法第7条の規定に基づき、大気の汚染、水質の汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌の汚染に係る環境上の条件について、それぞれ、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として設定されたものです。平成11年12月27日に告示され、平成12年1月15日から適用となりました。ただし、底質については、平成14年9月1日から適用となりました。

媒体	基準値
大気	0.6 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下
水質	1 pg-TEQ/L以下
土壌	1,000 pg-TEQ/g以下
底質	150 pg-TEQ/g以下

大気及び水質の基準値は、年間平均値とされています。